

令和4年12月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,305	274,268	273,500	274,039	768	229
2 調定水量	m ³	601,549	5,734,720	5,815,000	5,814,171	△ 80,280	△ 79,451
3 調定料金(税抜)	円	163,303,667	1,541,948,778	1,555,000,000	1,558,242,487	△ 13,051,222	△ 16,293,709
4 口振加入件数	件	24,951	225,535	—	225,973	—	△ 438

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,954	170,232	169,880	167,558	352	2,674
6 調定水量	m ³	378,028	3,529,419	3,505,700	3,541,899	23,719	△ 12,480
7 調定料金(税抜)	円	60,340,475	560,547,409	553,305,000	560,444,256	7,242,409	103,153

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	75,360	—	76,616	△ 1,256
9 給水件数	件	30,029	—	30,018	11
10 閉栓処理件数	件	191	2,322	2,139	183
11 閉栓処理件数	件	325	2,445	2,295	150
12 給水工事設計審査	件	46	400	440	△ 40
13 給水工事竣工検査	件	43	536	485	51
14 経年メーター交換	件	174	3,495	3,409	86
15 メーター口径変更	件	9	53	56	△ 3
16 督促状発送数	件	1,395	12,173	12,030	143
17 月末停止件数	件	92	—	84	8

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	21	293	282	11
19 排水設備工事完了検査	件	41	275	257	18

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
20 当年度分	189,178,428円	89.09%	191,861,476円	88.80%
21 過年度分	3,251,223円	98.27%	3,910,611円	97.98%
22 計	192,429,651円	-	195,772,087円	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
23 当年度分	80,082,877円	87.01%	80,428,879円	86.96%
24 過年度分	631,553円	99.20%	699,165円	99.12%
25 計	80,714,430円	-	81,128,044円	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
26 当年度分	2,311,320円	93.84%	2,515,800円	93.06%
27 過年度分	1,710,300円	22.63%	2,333,100円	12.59%
28 計	4,021,620円	-	4,848,900円	-

登米市 水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ジョーくん 水守(みもる)さん

特 記 事 項

1. 12月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・ 上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は179,524千円(税込)で、前月期に比べて6,332千円の減、対前年同月比では3,266千円の減となっています。営業収益は180,004千円、営業外収益は事務手数料や補償金など5,578千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など107,101千円、特別損失は災害復旧費用や放射能測定費用として2,370千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金として594千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など9,787千円を執行しました。

・ 下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は66,290千円(税込)で、前月期に比べて1,932千円の減、対前年同月比では1,030千円の減となっています。営業収益は66,291千円、営業外収益は、雑収益として18千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など92,835千円、特別損失は10,459千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、ありませんでした。支出は、建設改良費として工事費や災害復旧費など25,686千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会12月定期議会が開催されました

12月2日(金)に令和4年度登米市議会定例会12月定期議会が開会し、上下水道部では「令和4年度登米市水道事業会計補正予算(第6号)」及び「令和4年度登米市下水道事業会計補正予算(第4号)」を提案し、原案通り可決されました。

水道事業会計補正予算については、エネルギー価格高騰による公用車燃料、庁舎暖房燃料及び電気料についての補正、下水道事業会計補正予算においては、来年度当初から施行を要する浄化槽点検清掃業務など5件の債務負担行為の追加を行いました。

(2) 登米高校からのインターンシップ受入れについて

12月13日(火)に登米高校1年生5名のインターンシップ受け入れを行いました。生徒の皆さんには、水道管の布設現場の見学や水道管の材料検査体験、給水拠点設置訓練及び水質検査体験を行ってもらい、現場実習をとおして上下水道事業の仕事を学んでもらいました。

生徒からは「今まで使っていた水道や下水道が、たくさんの人々の仕事により使えることが分かった。この経験を活かし将来の仕事を決めていきたい」とのことでした。

今後も、社会に出る前の職場体験の場を積極的に提供し、上下水道事業への理解を深めていただけるよう努めてまいります。



【インターンシップの状況】

令和4年12月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	826,771	7,528,911	7,295,240	7,476,952	233,671	51,959
総配水量	776,742	7,037,340	6,817,990	6,987,553	219,350	49,787
1 有効水量	656,599	6,202,069	6,272,350	6,216,322	△ 70,281	△ 14,253
(1) 有収水量	605,596	5,774,681	5,854,600	5,851,702	△ 79,919	△ 77,021
(2) 無収水量	51,003	427,388	417,750	364,620	9,638	62,768
2 無効水量	120,143	835,271	545,640	771,231	289,631	64,040
(1) 漏水量	119,676	823,602	540,000	767,946	283,602	55,656
(2) その他無効水量	467	11,669	5,640	3,285	6,029	8,384
3 有収率	77.97%	82.06%	85.87%	83.74%	-3.81%	-1.68%

※ 当月期の最大配水量は、31日（土）に記録した【26,938m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
浄水施設整備事業	6	64,020	6	54,846	0	0	9,174	85.7%
配給水施設整備事業	55	1,095,902	38	737,988	13	75,520	282,394	74.2%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 水中ロボットによる配水池内部清掃の実施について

12月2日（金）～27日（火）に保呂羽浄水場において、㈱アイ・ケー・エスにより、1号・3号配水池内部の清掃を実施しました。

この作業は、水中ロボットを使用することで、断水することなく通常通り水道水の供給を行いながら、配水池内部の堆積物（水あか・配管錆等の沈殿物）を除去するものです。また、併せて内部の点検も行いました。



【水中ロボット清掃作業（イメージ）】

2 保呂羽浄水場再構築事業優先交渉権者を決定

12月7日（水）に登米市保呂羽浄水場再構築事業事業者選定委員会が開催されました。

今回の選定委員会では、応募グループ2社による技術提案書等のプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、審査した結果、代表企業メタウォーター株式会社東北営業部が優先交渉権者として選定されました。

今後は、優先交渉権者と基本契約を締結した上で、3月上旬に設計及び建設工事請負契約・保全管理業務委託契約を締結し、4月から事業を開始することとなります。

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	50	208.958
付属施設	0	0.000	
給水装置	60	59.517	
計	110	268.475	

【漏水調査結果：4月～12月（累計）】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）

約1,789,912円/日当たり
算定：R3年度給水原価 277.79円
累計漏水量 268.475m³/h
268.475m³/h×24h×277.79円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	287,014	2,378,775	2,434,925	△ 56,150		1処理場
特定環境保全公共下水道	50,817	440,883	499,664	△ 58,781		3処理場
米谷・錦織処理区	10,465	90,289	107,368	△ 17,079		
豊里処理区	29,519	256,645	282,994	△ 26,349		
津山処理区	10,833	93,949	109,302	△ 15,353		
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	11,855	100,311	115,622	△ 15,311		
農業集落排水	103,832	938,047	1,001,550	△ 63,503		24処理場
迫地区	8,028	75,122	90,454	△ 15,333		
東和地区	2,756	23,422	27,761	△ 4,339		
中田地区	28,978	211,669	248,606	△ 36,937		
豊里地区	1,900	16,078	18,063	△ 1,985		
米山地区	41,691	439,450	434,915	4,535		
南方地区	20,479	172,306	181,751	△ 9,445		R4. 4. 1時点
浄化槽(特地・個排)	41,380	347,582	376,427	△ 28,845		2,015基
合計	494,898	4,205,598	4,428,188	△ 222,590		

※各処理場ごとの処理水量及び有収水量などの内訳は、別紙登米市下水道施設等維持管理状況報告書を参照。
※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	536,261	3	156,035	0	14,610	365,616	31.8%
ポンプ施設整備事業	1	25,000	1	23,100	0	0	1,900	92.4%
処理施設整備事業	82	334,091	27	166,710	52	64,735	102,646	69.3%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 マンホールの段差補修の実施

迫町佐沼地区の市道において、道路に設置されているマンホールと舗装に段差が確認されたことから、通行する車両の安全確保と段差解消を目的とした緊急の段差補修作業を実施しました。

今後もマンホールなどが通行上の支障とならないよう随時確認しつつ、必要に応じて補修作業を実施し、適切な維持管理を行います。



【マンホールの高さ調整の状況】

2 汚水管渠築造工事に着手

12月期、迫町梅ノ木地区汚水管渠築造工事に着手しました。この工事は、開削工法及び推進工法による管路(施工延長L=348.56m)、マンホール(8基)及び小型マンホール(2基)の整備を行うものです。

この工事により、未整備となっていた迫町梅ノ木地区の整備が完了する見込みです。令和5年度の事業概成に向け、引き続き汚水管渠の整備を行ってまいります。

○浄化槽整備事業受付状況 (12月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	80	0

※予定件数に達しましたので、受付は11月末で終了しました。